2026 年 4 月 1 日

課題名：DEXA 法を用いた全身体組成検査における骨密度指標に関する検討

◆研究の目的と概要◆

予防医療プラザでは、全身体組成検査における全身骨密度の骨粗鬆症診断指標としての有用性を調べています。有用性が明らかとなれば、骨密度検査だけでなく全身体組成検査においても骨粗鬆症のスクリーニングが可能となり、潜在的骨粗鬆症患者の早期発見が期待できます。

◆対象となる患者さん◆

2025 年 1 月から、2026 年 3 月までの間に、予防医療プラザにおいて骨密度検査と全身体組成検査の両方を同日に検査された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

- 研究対象者背景：性別、年齢、身長、体重、
- 骨密度検査の結果：腰椎および大腿骨近位部の骨密度
- 全身体組成検査の結果：全身骨密度

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026 年 4 月 25 日以降

◆研究方法◆

骨密度検査における腰椎・大腿骨近位部の骨密度と全身体組成検査における全身骨密度を比較します。

＊　研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合せ先】
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
放射線技術部　研究責任者　亀井山弘晃
E-mail：　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明